

2015年2月2日(月) 18:00~18:35

【出席者】

常務執行役員 広報部、法務知財部、情報システム部担当 村松 実

執行役員 経営管理部長 登林 浩司

執行役員 開発本部長 松本 健

執行役員 営業本部 副本部長 吉川哲男

執行役員 経理財務部長 田原 永三

ワクチン推進部長 石田 勇人

【2014年度第3四半期決算】

Q／インヴォカナのロイヤリティ率を教えてください。

A／ロイヤリティ率については、開示をしていない。

Q／前年同期累計のインヴォカナの受取ロイヤリティ金額を教えてください。

A／導出先との取り決めがあり、累計50億円に至るまでの経緯については、開示しない。

Q／インヴォカナのロイヤリティの為替レートはいくらか。

A／ロイヤリティ計算に使用した為替レートについては、開示していない。

Q／インヴォカナのロイヤリティに、見込み計上の部分はあるのか。

A／見込み計上を行うことにより、両社の計上期間のタイミングを一致させている。

Q／構造改革プロジェクトによるコスト削減について、当初年間計画30億円に対して進捗が上回っているように見えるが、第3四半期での状況を教えてください。

A／30億円のコスト削減計画は、対2012年度比の数値である。第3四半期までは、概ね順調に推移しているが、厳密な計算はしていない。なお、第3四半期のコスト減の中には、開発プロジェクトで一時的に費用が谷間になっているものも含んでいる。

【2014年度業績予想】

Q／インヴォカナのロイヤリティ収入は想定線か。

A／円安の影響を除けば、ほぼ想定通り。

Q／第4四半期に予定している期限切迫品による原価増の規模感を教えてください。

A／金額は開示していないが、全体としてはそれなりの規模になる。昨年度大流行した風疹の影響により在庫が増えたミールビック、それ以外にも、不良在庫化するものがあると予想している。

Q／導入費用の規模感を教えて欲しい。30～50 億円と予想して良いか。

A／その予想の範囲内の規模感を予定している。

Q／第 2 四半期決算発表で、コスト削減は予定を上回るペースで進捗していると言っていたが、その傾向に変わりはないか。

A／進捗状況は変わらない。当期 30 億円は超えると思う。

【国内営業】

レミケード

Q／レミケードのバイオシミラーの影響について、可能な範囲で教えて欲しい。

A／第 3 四半期については、影響がなかった。第 4 四半期についても、殆ど影響が無いと見ており、今期の計画は達成できると考えている。来年度については、このタイミングではコメントを控えたいが、低薬価の恩恵を受ける患者さんは、意外と少ないのでは無いかと思っている。

Q／バイオシミラーは基幹病院でも採用されているのか。

A／開発治験先で採用実績があると認識している。

Q／バイオシミラーがさらに仕切価格を下げてくる可能性はあるのか。

A／他社の仕切価格施策については、回答を控えさせて欲しい。

Q／レミケードの疾患別のシェアを教えて欲しい。

A／適応症が多く、投与量もまちまちなので、疾患別の正確なシェアは分からない。

Q／バイオシミラーは、炎症性腸疾患に比べると、データのある関節リウマチの方がアプローチしやすいと思うが、御社の見解を教えて欲しい。

A／関節リウマチについては、低薬価の恩恵を受ける患者さんが限定されるのではないかとみている。

テネリア／カナグル

Q／両剤の進捗状況について、コメントして欲しい。

A／テネリアは市場浸透が進んできており、計画に対してはインライン。カナグルは 6 月と 8 月に糖尿病学会からレコメンデーションが発表されたため、これを受けて SGLT2 阻害剤の新規投与が減少傾向となった。従って、カナグルも目標に対して進捗がやや遅れている。

【開発パイプライン】

BRD 阻害剤 Y-803

Q／御社が留保している権利を教えてください。

A／契約内容の詳細については、回答を控えさせて欲しい。

導入品の獲得について

Q／メディカゴの買収を除くと長らく導入品が無いが、導入品を獲得できない特別の理由があるのか。

A／我々のニーズと相手先のニーズが、条件交渉の中で成立していなかった。何か特別な理由がある訳ではない。これからも積極的に導入はすすめていきたい。

Q／第4四半期に予定している導入品獲得は、実現可能性が高いものなのか。

A／現在交渉中の案件については、回答を控えさせて欲しい。

【その他】

Q／米国展開について、製品の自販も視野に入れているのか。

A／米国展開は出来るだけ早いタイミング、2020年あたりで実現したい。自販も含めて、どのような形態で行うかは、検討しているところ。

Q／次期中計の発表タイミングを教えてください。

A／確定はしていないが、11月後半から12月前半の発表を予定している。

Q／ROEと自己株式取得の考えを教えてください。

A／ROEについては、アベノミクスの一つの指標として、市場でも重要視されていることは承知しており、当社にとっても課題の一つであると認識している。自己株式取得についても、検討課題の一つであると認識している。

Q／来年度発表予定の新中期経営計画までのタイミングでも、自己株式取得は実現できるのか。

A／検討課題としては、否定しない範囲である。

以上